

## 高校生・大学生意見聴取結果の概要

### 1 高校生・大学生グループディスカッションの結果概要

|    |   |
|----|---|
| 対象 | 道内の高校生及び大学生 1,309名(35校)   |
| 方法 | 6～7人程度のグループに分かれ、「地域の課題・課題を解決するための取組」「地域の強み・強みを活かした取組」について、議論 ※アンケート調査と併せて実施 |

#### ■地域の課題等（主なもの）

| 地域の課題等                  | 課題を解決するための取組   |
|-------------------------|--|
| 少子高齢化                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援・子育て環境の充実（医療費や教育費の無償化等）</li> <li>地域の医療福祉提供体制の確保（人材の確保（養成するための体制、勤務環境改善等）、施設の機能分担・運営効率化等）</li> </ul>  |
| 地域からの人口流出（札幌・首都圏の一極集中等） | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりへの若年層の意見の反映、若年層が集まれる場所の整備（商業施設、娯楽施設等）</li> <li>進学先の確保、教育格差の解消（高等教育の充実、公営塾等による学力の向上）</li> <li>雇用の確保（企業誘致、大学の究成果を生かせる・押しできる企業づくり、情報産業の創出等）、所得の向上</li> <li>住民向けの地域を知る機会の創出、地元への愛着の醸成、住民が主体となった魅力発信</li> <li>移住施策の推進、リモートワーク環境の整備</li> </ul> |
| 商店街の活性化、空き店舗の活用等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>起業支援、起業しやすい環境の整備、イベントなどによる賑わいの創出</li> </ul>   |
| 交通網の整備、公共交通の利便性向上       | <ul style="list-style-type: none"> <li>JR北海道への支援（ふるさと納税による財源の確保、除雪対策等）、自動運転化、バス運転手の待遇向上、運行ダイヤの改善等</li> </ul>   |
| 除雪対策                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>従事者の待遇改善、財源の確保、住民による実施、ボランティア、除雪機の貸出、除雪に関する技術的支援等</li> </ul>  |
| 一次産業における生産体制の確保         | <ul style="list-style-type: none"> <li>就業希望者とのマッチングの仕組みづくり、支援制度の創設</li> <li>農業における障がい者の雇用、農家の働き方改革の推進（ICT化）</li> <li>漁獲量制限や栽培・養殖漁業の促進</li> </ul>   |

## ■地域の強み等（主なもの）

| 地域の強み等       | 強みを活かすための取組   |
|--------------|---|
| 豊かな自然、美しい景観  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光商品の開発（アウトドアアクティビティ、グリーンツーリズム・エコツーリズム等）、イベントの企画、SNS等を活用した積極的な魅力発信</li> <li>・観光客だけでなく、地元民も気軽に体験できるような企画の実施、体験のための施設整備（グランピング等）</li> <li>・移住の促進、リモートワークの環境整備</li> <li>・都会の大学生や大人と、地元高校生との交流の場づくり</li> <li>・再生可能エネルギー（風力発電、太陽光発電、バイオマス等）の活用促進、脱炭素に向けたリーダーシップの発揮</li> <li>・「美しい夕日」を活かしたPR</li> </ul> |
| 広大な土地        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通網の整備</li> <li>・アウトドアやウィンタースポーツの体験イベントへの活用や、施設整備、公園の整備</li> <li>・企業や研究機関等の誘致、経済特区としての活用</li> </ul>   |
| 農林水産業・食      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産物のふるさと納税の活用によるPR、インターネット通販による販路拡大やPR、ブランド力向上、6次産業化（規格外品の活用等）、食を活かしたテーマパークの設立</li> <li>・体験の場、観光資源としての活用</li> <li>・機械化やICT化の推進による生産量、市場の拡大</li> </ul>   |
| 地域の文化、歴史     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物を活かした地域づくり</li> <li>・アイヌ文化の理解促進（ウポポイやアニメ等を通じた情報発信）</li> <li>・地元民による地域の魅力の再認識、発信</li> </ul>  |
| 住民同士の結びつきの強さ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや地域イベント等への交流促進を通じた地域づくり、高齢者の活躍促進</li> </ul>   |
| 多様性を受け入れる風土  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生に向けた環境整備</li> </ul>  |

## 2 高校生・大学生アンケート調査の結果概要

### 調査の概要

方法：学校訪問によるアンケート調査 ※グループディスカッションと併せて実施  
 (期間：令和5年(2023年)7～10月)

対象：道内の高校生及び大学生

回答数 1,338名

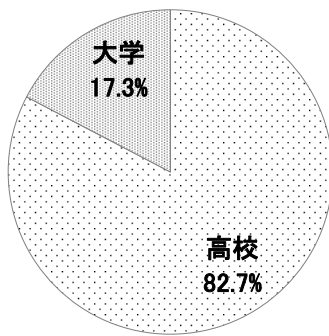
高校：1,106人(公立：各振興局1～2校、計23校、私立：石狩管内4校、27校)

大学：232人(6連携地域1～2校、計9校)

個々の比率(百分率)は、小数第1位ないし第2位を四捨五入しており、各区分の比率合計が100%にならない場合あり

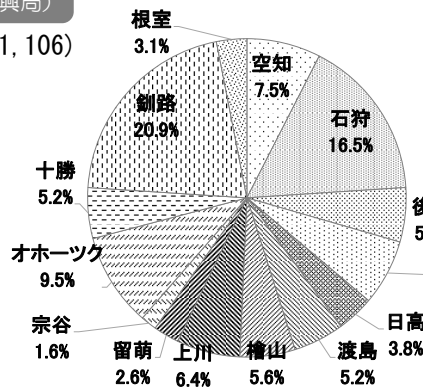
### アンケート対象の属性(n=1,309)

対象



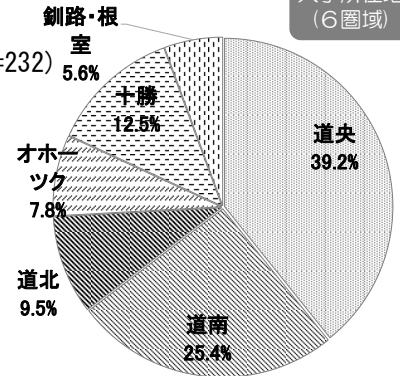
高校所在地  
(振興局)

(n=1,106)



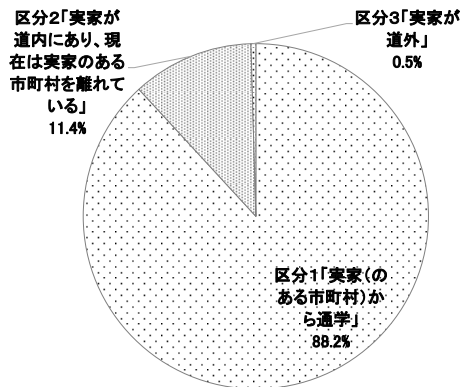
大学所在地  
(6圏域)

(n=232)



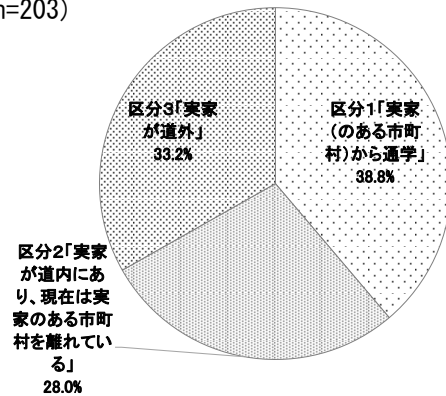
高校生の住所区分

(n=1,106)



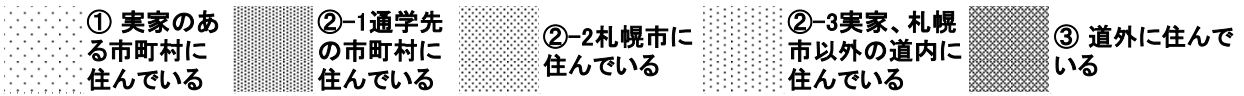
大学生の住所区分

(n=203)



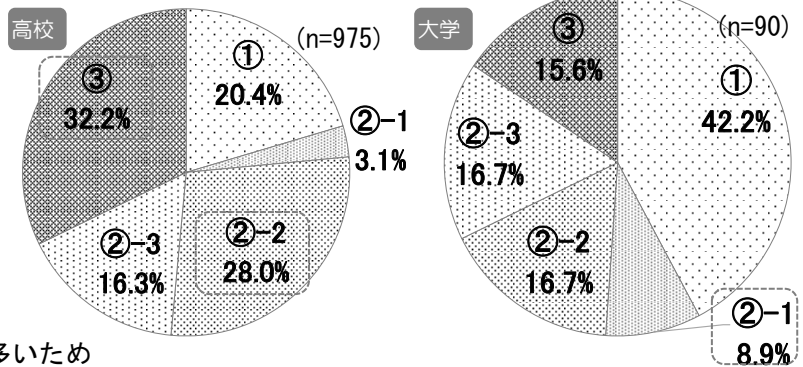
問1. あなたは、10年後にどこで暮らしていると思いますか。あなたが当てはまる以下の区分から1つ選んで○を付け、その理由を記載してください。(n=1,065)

【区分1「実家（のある市町村）から通学している方」】



■傾向

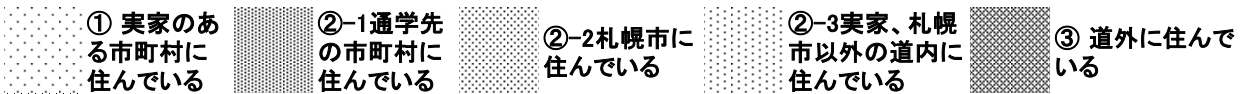
- ・高校生の3割強が「道外に住んでいる」と回答
- ・高校生の3割弱、大学生の2割弱が「札幌市に住んでいる」と回答



■主な理由

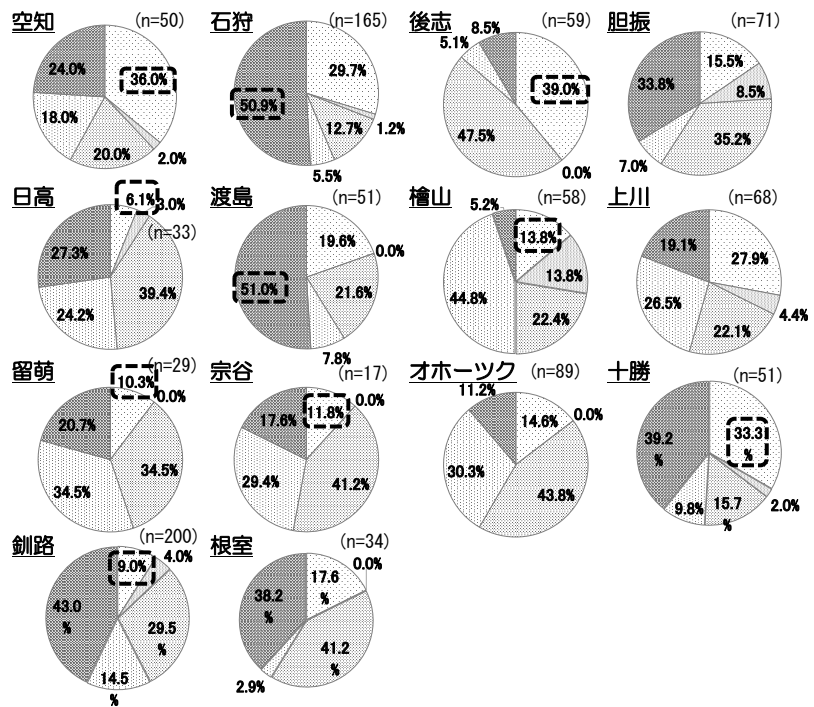
- ・①：地元が好きだから
- ・②-1：地元よりも就職先の選択肢が多いため
- ・②-2：札幌の大学に進学したいと考えているため
- ・②-3：実家の近くで、何かあったら帰ることができる比較的大きな街に就職する予定であるため
- ・③：道外で働くことに憧れがあるため

【区分1「実家（のある市町村）から通学している方」】※高校所在振興局別

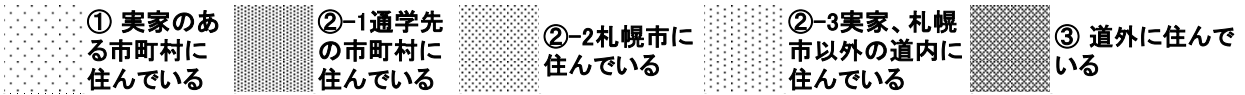


■傾向

- ・石狩、渡島では、5割を超える生徒が「道外に住んでいる」と回答
- ・空知、後志は4割弱、十勝は3割強の生徒が、「実家のある市町村に住んでいる」と回答
- ・日高、檜山、留萌、宗谷、釧路では、1割程度が「実家のある市町村に住んでいる」と回答

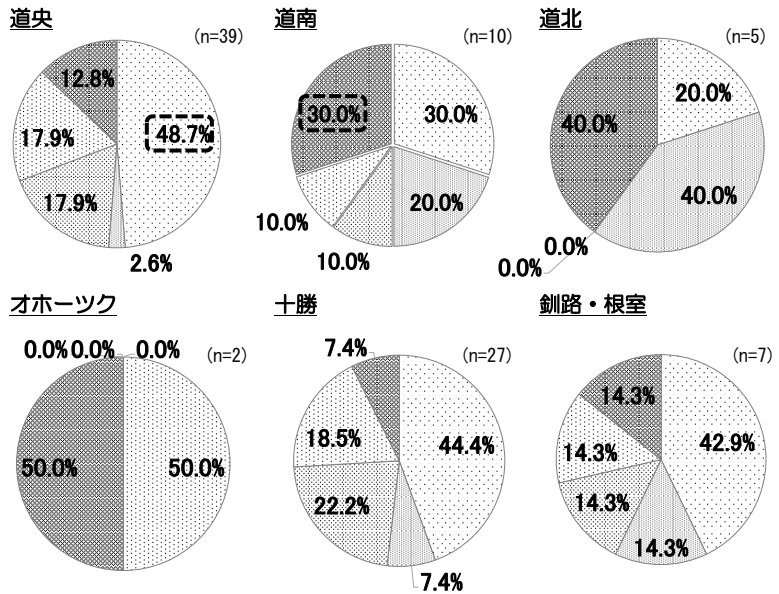


【区分1「実家（のある市町村）から通学している方】※大学所在圏域別

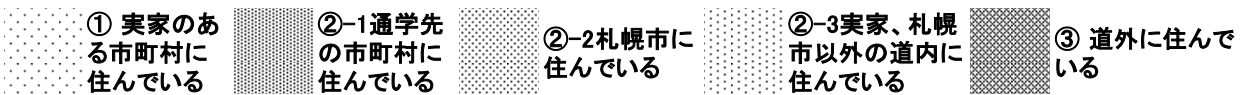


■傾向

- ・道央では、5割弱が「実家のある市町村に住んでいる」と回答
- ・道南では、3割が、「道外に住んでいる」と回答



区分2「実家が道内にあり、現在は実家のある市町村を離れている方」

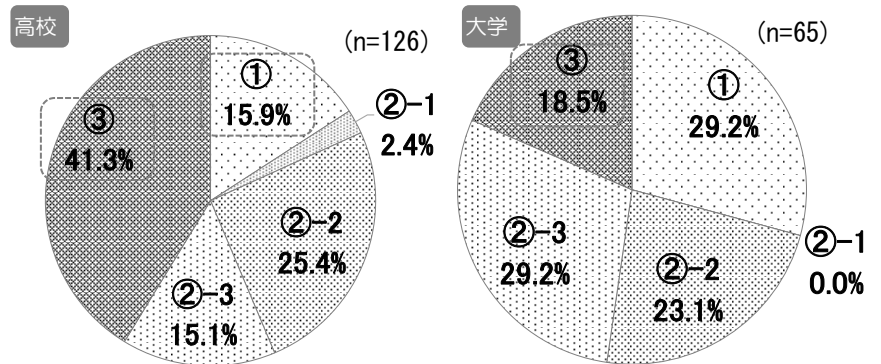


■傾向

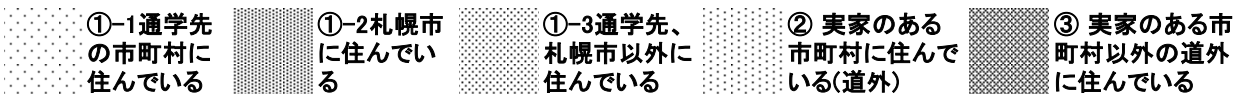
- ・高校生の約4割、大学生の約2割が「道外に住んでいる」と回答
- ・一方、高校生の15%が「実家のある市町村に住んでいる」と回答

■主な理由

- ・②-2：札幌市が道内で一番活気があるため
- ・②-3：北海道内であればこだわりのないため



区分3「実家が道外にある方」

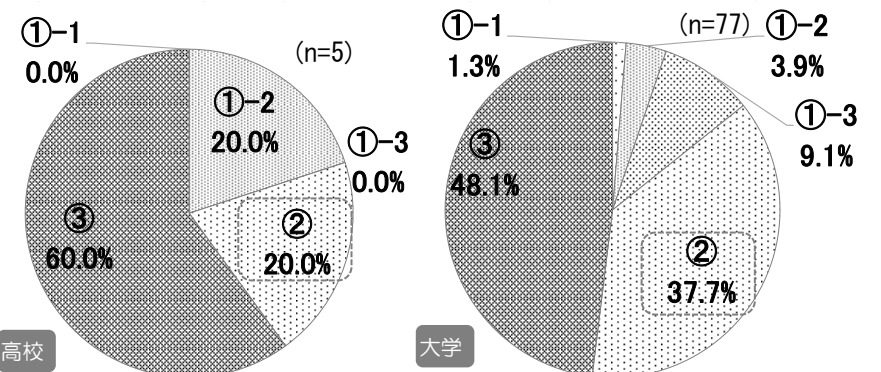


■傾向

- ・高校生の2割、大学生の4割弱が「道内に住んでいる」と回答

■主な理由

- ・①-3：北海道で働くために道内の大学に入学したため



問2. あなたが、今、学び、暮らしている地域で重要だと思うことを次の中から最大3つまで選んで○を付け、その理由を記載してください。(n=3,545)

### 【設問】

- 暮らし全般 物価・地価、住環境 など
- 地域社会・経済 まちに活気やにぎわいがあること、日常の買い物環境 など
- 環境 自然環境・資源のリサイクル など
- 教育 充実した教育を受けることができること など
- 医療 必要な医療をいつでも受けることができること など
- 子育て 安心して出産や子育てができること など
- 福祉 高齢者や障がいのある方が地域で生き生きと生活できる環境 など
- 仕事 働く場が確保されていること、希望する職業で働けること、労働環境 など
- 防災 地震や水害などへの防災対策 など
- 安全 犯罪・交通事故の心配がなく安心して生活できること など
- 交通・道路 通勤・通学や買い物への交通の便、行きたい場所への移動に困らないことなど
- 情報・デジタル インターネットの使用環境が整っていること、個人情報を守られていること など
- その他 具体的に記載してください

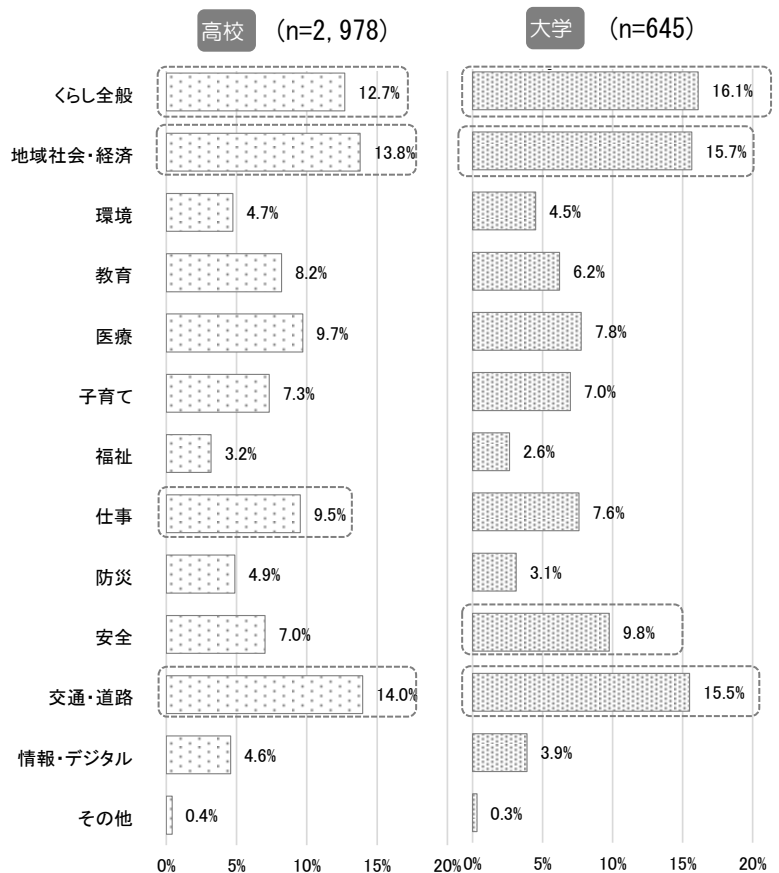
### 【区分毎】

#### ■傾向

- ・高校生、大学生とも、**暮らし全般**、**地域社会・経済**、**交通・道路**の項目が大きい
- ・4番目に多い項目は、高校生が**医療**、大学生が**安全**となっている

#### ■主な理由

- ・〔交通・道路〕公共交通がほとんどなく、移動が非常に不便であるため
- ・〔仕事〕働く場が確保されていると子育て環境も安定するため
- ・〔地域社会・経済〕人が集まるためには街に活気や賑わいが必要であるため
- ・〔教育〕教育機関がないと進学で今住んでいる市町村から出なければいけないため



※高校所在振興局別

■傾向

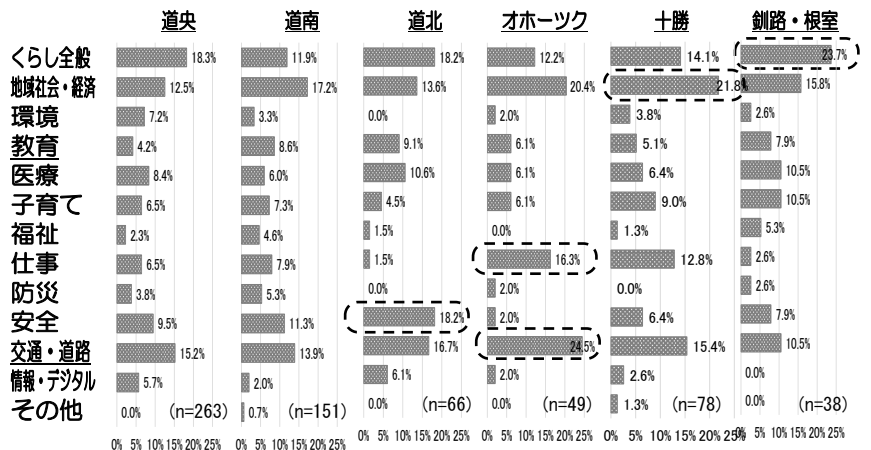
- ・多くの振興局で交通・道路が高くなっている（宗谷 19.6%，上川 19.5%，胆振 16.8%，根室 16.5%）
- ・渡島は教育（17.9%）、オホーツクは医療（16.2%）、宗谷は情報・デジタル（13.7%）が高い
- ・釧路、根室は他地域と比較して防災の割合が高くなっており（釧路 10.5%，根室 8.2%）、発生が切迫するとされている日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対策を意識している生徒が多いことがうかがえる



※大学所在圏域別

■傾向

- ・多くの圏域で暮らし全般、地域社会・経済、交通・道路が高くなっている
- ・道北は安全（18.2%）、オホーツクは仕事（16.3%）と交通・道路（24.5%）、十勝は地域社会・経済（21.8%）、釧路・根室は暮らし全般（23.7%）が高い



問3. 次の中から、あなたが、北海道の良いところ・優れているところ・価値（将来に引継いでいくべきもの）だと思うものを最大3つまで選んで○を付け、その理由を記載してください。(n=3,378)

### 【設問】

- 広大な土地 広々とした空間、大きな工場等を誘致できる など
- 冷涼な気候 本州等に比べ涼しい、良質な雪があり観光客等が集まる など
- 地理的特性 アジア等との近さ、本州等と距離があり同時被災リスクが低い など
- 自然環境 知床世界自然遺産、多くの自然公園 など
- 食料供給力 豊富な農水産物、食料自給率が高い など
- エネルギー・資源 太陽光・風力など再生可能エネルギーや水資源・森林資源が豊富 など
- 多様な地域 自然・歴史・文化・産業等が異なる地域が存在 など
- 歴史・文化 アイヌ文化、北海道・北東北の縄文遺跡群、まんが・アニメ、スポーツ など
- その他 具体的に記載してください

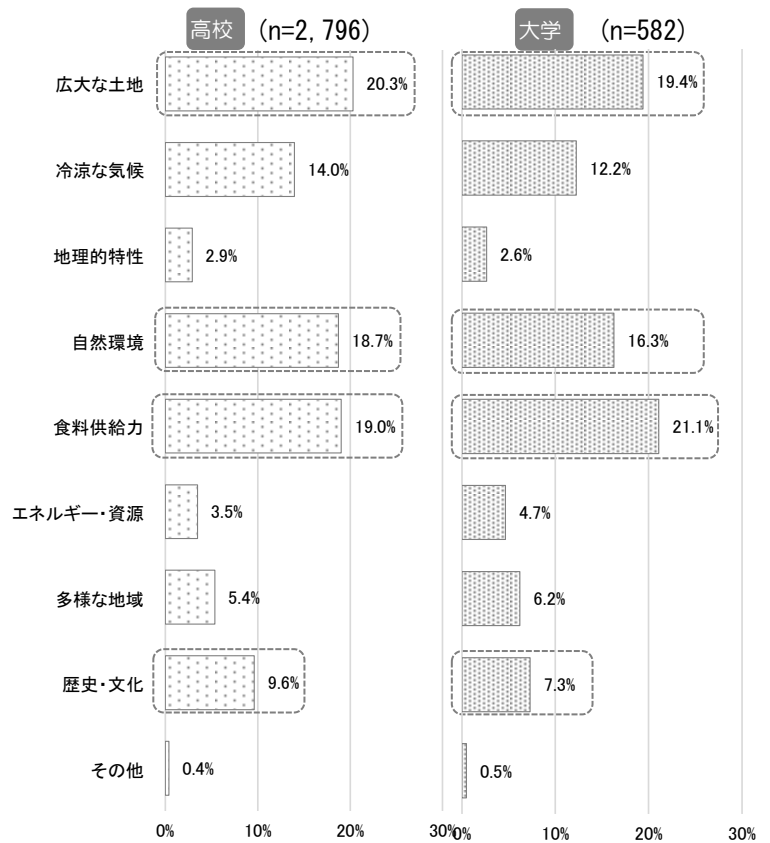
### 【区分毎】

#### ■傾向

- ・高校生・大学生とも、**広大な土地**、**自然環境**、**食料供給力**を選択した割合が高い
- ・また、高校生・大学生とも、**歴史・文化**を選択した割合が比較的高い

#### ■主な理由

- ・〔食料供給力〕北海道は日本の食糧庫であり、ブランド力もあるため
- ・〔広大な土地〕広大な土地があるからこそ、再エネや企業誘致を進められるため
- ・〔自然環境〕自然環境は日本の他にはない良さがあり、素晴らしい観光資源であるため
- ・〔冷涼な気候〕最近の日本の夏の暑さを考えると北海道の冷涼な気候は長所であるため

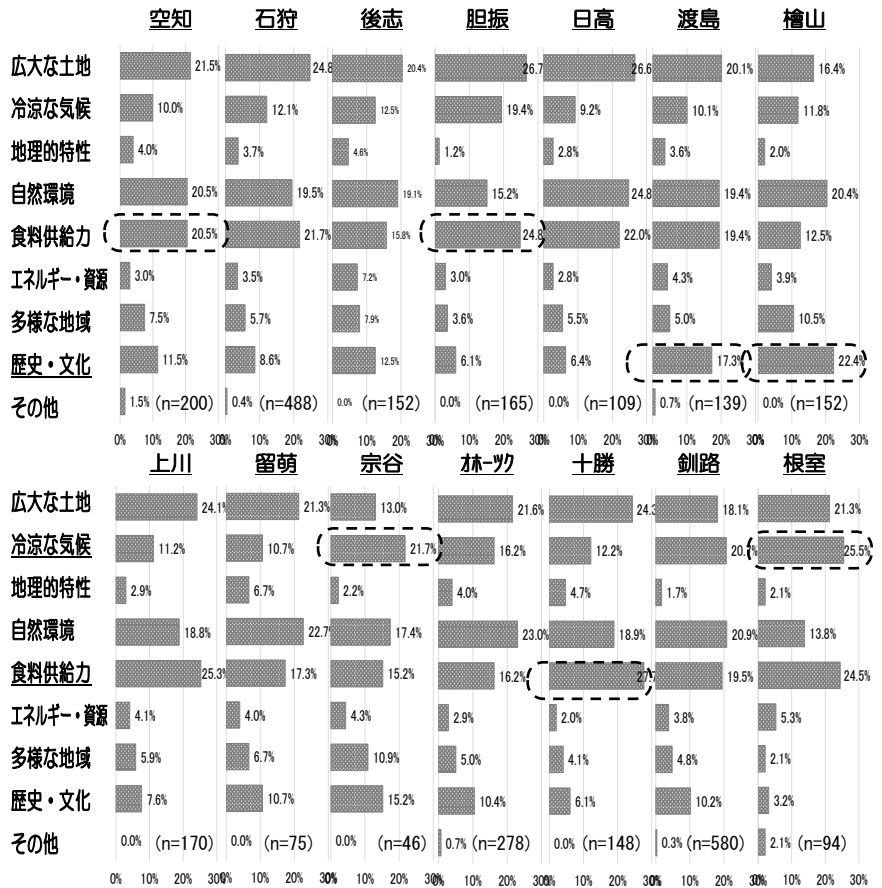




※高校所在振興局別

■傾向

・宗谷、根室は冷涼な気候、空知、胆振、十勝は食料供給力、渡島、檜山は歴史・文化が高くなっており、各地域の特性が反映されている



※大学所在圏域別

■傾向

・オホーツクは自然環境、道央、道北、十勝、釧路・根室は食料供給力、道南は多様な地域が高くなっており、各地域の特性が反映されている

